

相談窓口ご担当のみなさまへ

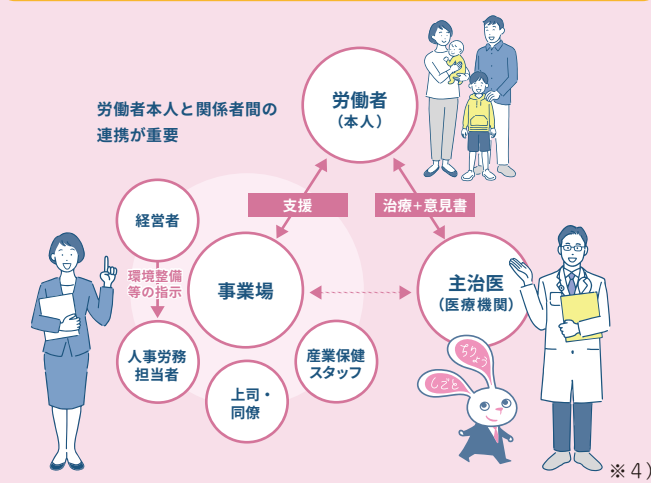


両立支援コーディネーターとは

両立支援コーディネーターとは、治療と仕事の両立に向けて、支援対象者、主治医、会社・産業医などのコミュニケーションが円滑に行われるよう支援する者とされています。支援対象者が治療と仕事を両立できるよう、それぞれの立場に応じた支援の実施及び両立支援に関わる関係者との調整を行うことがその役割として求められています。



両立支援コーディネーター両者の橋渡しの役割



両立支援コーディネーター基礎研修

「両立支援コーディネーターの養成ページ」より基礎研修開催のご案内をご覧ください。



両立支援コーディネーター基礎研修プログラム

【動画配信研修】

講義名	時間数(分)
両立支援コーディネーターの必要性とその役割	45
基本的な医療に関する知識	60
産業保健に関する知識	60
労務管理に関する基本的知識	60
社会資源に関する知識	60
両立支援のためのコミュニケーション技術	45
がん経験者による当事者談話	40

【WEBライブ講習】

講義名	時間数(分)
両立支援コーディネートの実際	120

産保センターをご利用ください!



産保センターは、
中立的な立場から
みなさまのご相談に
対応します。



産保センターの支援内容(両立支援)

1. 相談対応

労働者ご本人、会社のご担当者からの相談に、電話・メール・面会等で対応します。



2. 個別訪問支援

両立支援促進員が事業場を訪問し、両立支援に関する相談や、職場環境改善について助言します。

3. 啓発セミナー

両立支援の普及・啓発を目的としたセミナーを実施します。

4. 個別調整支援

※対象となる労働者の本人同意が必要です。
事業者と労働者の治療と仕事の両立について助言します。(両立支援プラン作成等)

がん・脳卒中・心臓病・肝疾患・糖尿病・その他の難病と診断されたあなたへ

治療を受けながら働き続けることを不安に思っている方へ



治療と仕事の 両立支援



独立行政法人労働者健康安全機構
高知産業保健総合支援センター



〒780-0850 高知市丸の内 1-7-45 総合あんしんセンター 3階

TEL : 088-826-6155 (平日 8:30 ~ 17:15)

治療と仕事の両立のため、できる支援があります。



病気になった…
仕事はどうする？

それまで健康だった人が病気にかかり治療が必要になると、以前の通りには働けなくなるケースが出てきます。その場合、治療に専念することになるか、あるいは、治療しながら働くことができるのかはケースバイケースですが、**治療しながら働くことを希望する人にとっては、治療と仕事を両立させることができるかは大きな問題です。**※1)

会社は
どう配慮すればいい？



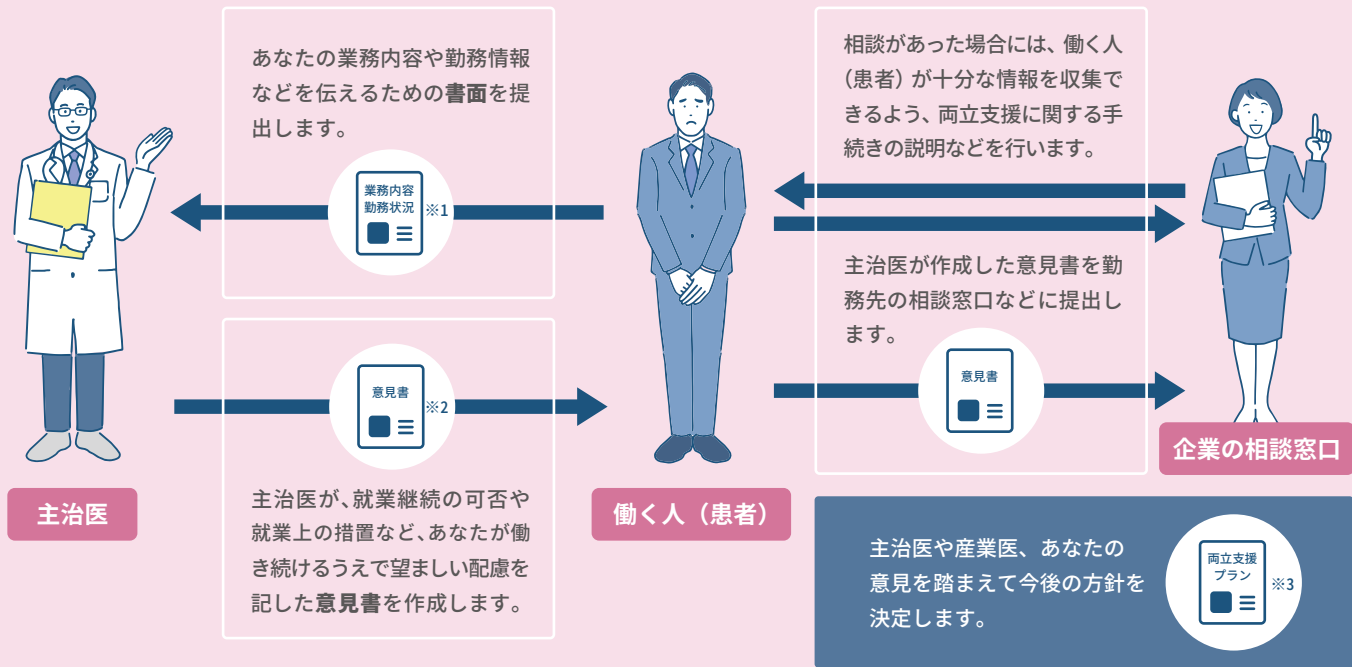
一方で、働く人の職場、とりわけ人事労務担当者や産業保健スタッフ、そして、共に働く上司や同僚にとっても、治療と仕事の両立支援は重要な課題です。**治療をしながら働きたいという思いがあり、主治医によってそれが可能だと判断された人が働けるような環境の整備が求められています。**

※2)

※1) 2) 3) 4)
「治療と仕事の両立支援ナビ (mhlw.go.jp)」より転載

両立支援のすすめ方

労働者ご本人の申し出からスタートします



※3)

関連資料

労働者・本人の準備
いまの自分の状況を会社に伝えましょう

事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン

様式例集等、両立支援に向けて事業者が取り組むべき内容を紹介しています。



事業場側の準備
申し出をしやすい社内の環境整備を進めましょう

ガイドライン 4～5頁 両立支援を行うための環境整備として取り組むことが望ましい事項について

取組を着実に進めていくための具体的な整備の進め方や留意点等を事例も交えながら解説しています。

